



令和4年度 草加市子育て講演会

まる まる

乳幼児期に育みたい「〇〇力」



埼玉大学教育学部附属幼稚園

副園長 小谷 宜路





自己紹介

- 幼稚園教諭として
「こども」時代を生きる ひとりの人として
※ 教職10年目の頃にしたこと
- 子育て中の父親として
※ 第一子誕生の日に感じたこと（こどもにとっての時間の流れ）
本来の 人としての 時間の流れ？
※ 育児休業で感じたこと
- 草加市とのつながり
令和3年度 草加市子育て講演会
「遊び」の中で育つこと・育てること



草加市の取り組みから

リーフレット

「笑顔で子育て
家庭教育で大切なこと」





「幼保小中を一貫した教育」
を進めています。

自己肯定感・自己有用感の
育成に取り組んでいます。

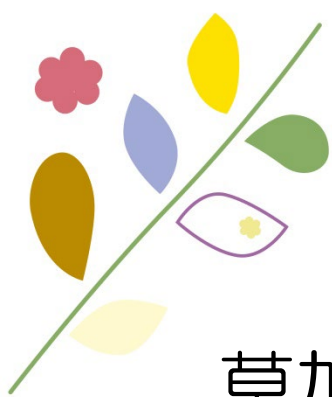
子どもの成長は
一人一人違います。

草加市では、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校が一体となって家庭・地域と連携して子どもたちの育ちを支える「幼保小中を一貫した教育」を進めており、その基盤となるのが家庭教育です。このリーフレットを参考に、これからのお子さんの成長を見通して、ご家庭で大切にしたいことについて考えてみてください。

草加市では、「幼保小中を一貫した教育」を通して、**自己肯定感・自己有用感**を育んでいます。自己肯定感・自己有用感とは、学習や運動への意欲や、命を大切にする心、思いやりなどへとつながります。

※自己肯定感 … 「自分は大切な存在だ」と思うことができ、自分に自信をもつことができる心
自己有用感 … 他人の役に立った、他人に喜んでもらえたなど、社会性の基盤となる心

子どもの成長には個人差があります。このリーフレットの「この時期の子ども」や「この時期に身に付けたいこと」の内容は目安ですので、**お子さんのことをよりよく知るためのヒント**としてご覧ください。



草加市の取り組みから

リーフレット「笑顔で子育て 家庭教育で大切なこと」

“ 「自己肯定感・自己有用感」の育成に取り組んでいます。”

◎自己肯定感 …

「自分は大切な存在だ」と思うことができ、
自分に自信をもつことができる心

◎自己有用感 …

他人の役に立った、他人に喜んでもらえたなど、
社会性の基礎となる心

生まれる前



この時期の子ども

胎動のときから、母親と子の間で心と体の交流が行われています。妊娠4か月頃には光に、6か月頃からは強い音にも反応し始め、母親の心拍や話し声が聞こえています。

家庭教育で大切なこと

母親の健康を第一に生活リズムを整える (休息、睡眠、栄養、適度な運動、情緒の安定)

- 育児や家事の分担について話し合い、子育てに必要な知識を得るなどして、これから始まる子育てを具体的にイメージしましょう。
- 子どもの誕生を楽しみにしながら、おなかの子にたくさん語りかけましょう。

0歳～2歳頃 人に対する信頼感 (基本的信頼感)の獲得



この時期の子ども

人の一生で、最も大きな成長をとげ、生きていくための基本的な能力を身に付ける時期です。自分を守り、自分に接する身近な大人(母親、父親など)と愛し、人への信頼感が育まれます。

自己肯定感・自己有用感を育むために

- 自分が受け入れられているという気持ちを感じるよう、食べたい・寝たい・抱っこしてほしいといった子どもの基本的な欲求をできる限り受け入れましょう。
- 子どもが自分でしようとする気持ちも大切にして、温かく見守り、必要に応じて必要なだけの手助けをしましょう。



この時期に身に付けたいこと

- ・自分は愛されている、守られていると実感することによる人に対する信頼感(基本的信頼感)
- ・自分の気持ちを言葉で表すこと
- ・自分以外の人の存在が分かること

家庭教育で大切なこと

子どもと向き合って子育てをし、 子どもの成長に合わせて生活リズムを整える

- 0歳～1歳頃は、子どもの基本的な欲求はできる限り受け入れてあげるという気持ちで、スキンシップをたくさんとりましょう。
- 親と一緒にやって見せながら、楽しく取り組ませましょう。
- 1歳～2歳頃は、親が見守り、声をかけるなどしながら、身の回りのことを自分でやろうとする意欲をたくさんさせましょう。
- 愛情豊かに子どもに接しましょう。親としての自覚をもち、「ありがとう」「ごめんなさい」といった言葉を親が温かく言えるようにしましょう。
- 親以外の大人にも協力してもらいながら育児に取り組みましょう。

3歳～6歳頃 自分の感情などを コントロールする力 (自律心)のめばえ



この時期の子ども

遊びを通して様々なことを学び、身体的な成長や運動能力、観察能力、社会性などの面で大きく成長します。自分とは違う他人の存在にも関心を持ち始めます。また、男女の違いが分かるようになります。5歳頃になると、現実と空想の区別もできるようになります。

自己肯定感・自己有用感を育むために

- 心ゆくまでの遊びと遊び体験を多くさせましょう。
- がんばったことを認め、自分でできた満足感を味わわせましょう。
- 様々な活動に挑戦させ、失敗しても努力したことを認めましょう。



この時期に身に付けたいこと

- ・食事やトイレ、着替えなど自分のことが自分でできること
- ・自分の思いを表現する力や、相手の思いやる心
- ・けんかをして子ども同士で話し合うなどして仲直りすること
- ・善悪の区別と良心のめばえ

家庭教育で大切なこと

遊びや生活の中で、ほめたり認めたりしながら 社会性が身に付くよう手助けする

- 「早寝早起き朝ごはん」の生活リズムをつくるとともに、トイレや着替え、片付けなど身の回りのことを自分でできるようにしましょう。
- 自然や文化にふれたり、様々な人と関わったりするなど豊かな体験をさせましょう。
- 子どもの話をしっかり聞いたり、がんばったことを言葉でほめたりして、やる気を育てましょう。
- 人に迷惑をかけない、危ないことをしないなど、社会や家庭のルールを親が手本となって示したり、親子で一緒に考えたりしましょう。
- 集団生活では時には我慢することも必要であることを認識させましょう。

幼児期に育みたい「〇〇力」
アンケートから（2016年）



アンケートの対象

幼稚園保護者(母親)	…	64名
(父親)	…	58名
教員(幼/小/中/特支)	…	91名
学生(乳幼児講座)	…	68名
小学6年生	…	116名
中学3年生	…	161名



アンケートの内容

幼児期にどのような「力」を
身に付けておくとよいと思うか

身に付けてほしいことは何か



アンケートの方法

幼児期に育みたい力を「○○力」として、3つ記述する

【アンケート回答用紙】

幼児期に育てたい力（資質・能力）

力

[理由]



アンケートの分類（例）

コミュニケーション(能)力	13
コミュニケーション力(会話力)	1
かかわる力	2
人とうまくかかわる力	1
対人関係を築く力	1
友達や親と交流する力	1
協調力	1
仲良くする力	1
共感力	2
調和力	1
他人を認める力	1

⇒ コミュニケーション力

アンケートの結果（各群の上位10の回答内容）

保護者(母親)		保護者(父親)		教員		学生		小学6年生		中学3年生	
1	コミュニケーション力	1	コミュニケーション力	1	コミュニケーション力	1	体力	1	体力	1	コミュニケーション力
2	忍耐力	2	体力	2	体力	2	コミュニケーション力	2	コミュニケーション力	2	聞く・話す力（言葉）
3	自分で考える力	3	行動力	3	我慢する力	3	想像力	3	話す・聞く力（言葉）	3	行動力
4	想像力	4	忍耐力	4	行動力	4	表現力	4	想像力	4	体力
4	思いやる力	5	考える力	5	聞く力	5	思いやる力	5	思考力	5	判断力
6	体力	6	決断力	5	探究力	6	考える力	6	判断力	6	相手を思いやる力
6	生活する力	6	創造力	5	想像力	7	忍耐力	7	集中力	7	想像力
6	行動力	8	継続力	8	人を思いやる力	8	観察力	8	計算力	8	発言力
6	聞く力（言葉）	9	想像力	9	楽しむ力	9	自己肯定力	9	人を思いやる力	9	忍耐力
10	自己肯定力	9	発信力	10	粘り強くやり抜く力	9	行動力	9	発想力	9	楽しむ力
		9	表現力			9	他者の意見を聞く力	9	行動力		



アンケートの結果（少数の回答から①）

「人生を楽しめる力」

「自然に触れ自然の中から考える力」

「不思議を自分で見つける力」

「好きなものを見つける力」



アンケートの結果（少数の回答から②）

「素直な気持ちでいる力」

「悲しみを乗り越える力」

「失敗を恐れない力」

「自分の人生を自分で決めていく力」



調査した2016年

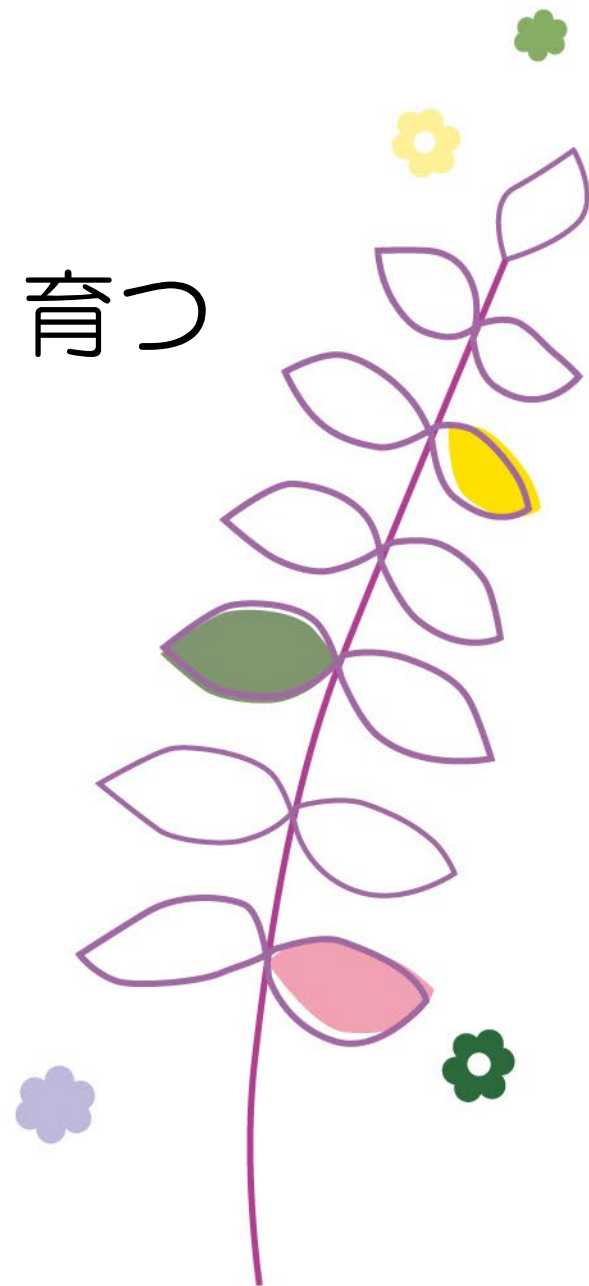
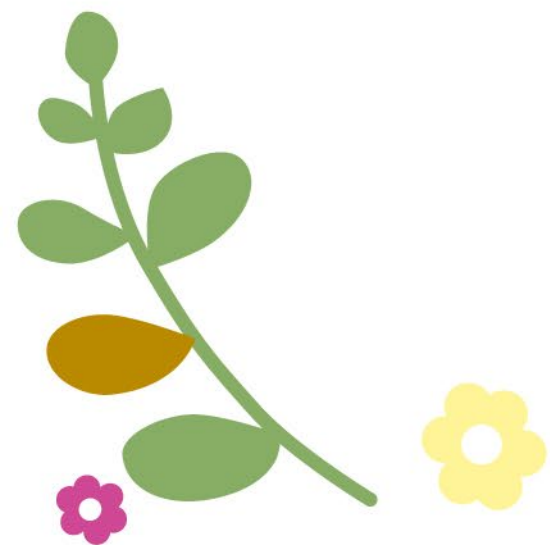
- 感染症に関わる社会状況が生じていない時期

その後の変化をふまえた2022年の今

- アンケート結果から改めて考えること
- 今ならばどんな「〇〇力」が思い浮かぶでしょうか



大人の姿を見て、感じて、育つ
こどもたち





大人の姿を見て、感じて、育つこどもたち

- 「戦いごっこ」はどうしますか？
⇒ 大人もひとりの人として感じることを伝える
- 使ってほしくない言葉を使ったらどうしますか？
⇒ 言葉の両面を伝える（理解というより感覚）
- きょうだいげんか、どうしますか？
⇒ 仲裁、仲介の仕方のモデルとなる



大人の姿を見て、感じて、育つこどもたち

- 「みんななかよく」？

⇒ 相手を尊重する
違いも認める（多様性）

- 心の大きさ
- やさしさ と かしこさ
- 人のために自分の力を使えるか、また、
そのことが自分のためにもなるか



アンケートの結果（少数の回答から③）

「自分や周りの人を大切にする力」

再び、
草加市の取り組みから

